

I 第22週の発生動向 (2007/5/28~2007/6/3)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所管内において、第19週から**警報**が継続しています。
3. 水痘については、むつ保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。
4. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
5. インフルエンザについては、前週に引き続き横ばい状態ですが、注意は必要です。型別については、迅速診断キットにより、弘前保健所管内でA型:12人、不明:1人、八戸保健所管内でA型:2人、B型:3人、むつ保健所管内ではB型:2人が報告されています。

II 第22週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数
(100) インフルエンザ	24	1.71	13	0.87	5	0.36	1	0.14	52	5.78	2	0.33	97	1.49	2	13	6.50	11	0.92					
(72) RSウイルス感染症			2	0.22	1	0.11							3	0.07	3									
(73) 咽頭結膜熱	6	0.67	6	0.67	1	0.11			21	3.50	2	0.50	36	0.86	-7			6	0.75					
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.78	41	4.56	5	0.56	5	1.00	23	3.83	5	1.25	95	2.26	42	2	2.00	14	1.75					
(75) 感染性胃腸炎	44	4.89	38	4.22	4	0.44	13	2.60	5	0.83	16	4.00	120	2.86	-36	6	6.00	38	4.75					
(76) 水痘	10	1.11	4	0.44	6	0.67	4	0.80	11	1.83	24	6.00	59	1.40	9	1	1.00	9	1.13					
(77) 手足口病															-1									
(78) 伝染性紅斑	2	0.22	2	0.22	1	0.11	3	0.60	2	0.33	8	2.00	18	0.43	6			2	0.25					
(79) 突発性発しん	7	0.78	2	0.22	4	0.44	1	0.20	2	0.33	5	1.25	21	0.50	-7			7	0.88					
(80) 百日咳															0									
(81) 風しん															0									
(82) ヘルパンギーナ	5	0.56	4	0.44									9	0.21	-4			5	0.63					
(83) 麻しん(成人を除く)															-1									
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.89	7	0.78	19	2.11	2	0.40	9	1.50			45	1.07	13			8	1.00					
(86) 急性出血性結膜炎															0									
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			2	1.00	4	4.00					7	0.64	4			1	0.50					
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					3	3.00	7	1.17	-1									

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む) ※報告数は速報値です。

- (9) 結核(二類全数把握疾患) 上十三保健所:1人、青森市保健所:1人 (19年計:46人)
 (83) 成人麻しん(五類基幹定点把握疾患) 青森市保健所:1人 (19年計:1人)

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症

本疾患は6月から9月にかけて報告数が増加する傾向にあります。2007年は、本県において、3月と4月に各々1人、5月には2人(うち1人はHUS(溶血性尿毒症症候群))の報告があります(図)。昨年7月、本県において、牧場の「ふれあい体験」を原因とする集団感染が学童を中心に発生し、その中にはHUS(溶血性尿毒症症候群)を発症した重症例もありました。HUSは小児期で発症することが多く、急性腎不全、貧血、血小板減少を引き起こし重症化します。

感染予防⇒ペットや牧場等の動物を触ったら、必ず**手洗い**を励行しましょう。また、**生肉や、加熱不十分な食肉は食べない**ようにすることが大切です。**下痢、腹痛、血便**などの症状が出た場合は、早めに最寄の医療機関を受診しましょう。

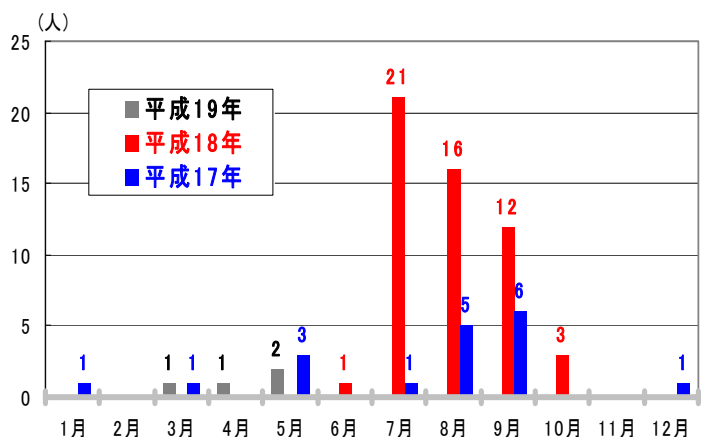


図 青森県における患者報告数(平成17年~19年第22週まで)